

日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立175周年記念式典を振り返って

細 谷 芳 三*

本学は、4月10日(木)、天皇皇后両陛下のご親臨を仰ぎ、有山登記念館講堂において「日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立175周年記念式典」を挙りました。

両陛下には、記念式典の後、この度開館しました「日本医学教育歴史館」をご視察いただきました。当日は、両陛下のご成婚55周年記念日にあたり、そのような佳き日にご親臨をいただきましたことは誠にありがたく名誉なことでありました。

式典は天皇皇后両陛下ご臨席のなか、ご来賓として森喜朗元内閣総理大臣・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長、高久史磨日本医学会会長・医学教育振興財団前理事長、河野洋平元衆議院議長・日本陸上競技連盟名誉会長、野依良治理化学研究所理事長、横倉義武日本医師会会長をはじめ、ご招待者・本学教職員等を含め約190名の方々にご出席をいただきました。

当日の式典では、小川理事長のご先導により両陛下がご登壇され、順天堂交響楽団の伴奏による国歌斉唱に始まり、小川理事長による式辞、そしてご来賓を代表して森喜朗様及び高久史磨様から祝辞を頂戴しました。両陛下が熱心にお耳を傾けられるご様子を拝見し、身の引き締まる思いがいたしました。厳粛な中にも温かみのある大変よい記念式典であったという声が多く寄せられました。

「日本医学教育歴史館」は順天堂創立175周年記念事業の一環として開設したもので、第28回日本医学会総会における企画展として平成23年2月～4月に国立科学博物館で開催された「医学教育史展～歴史でみる・日本の医師のつくり方～」の内容を保存しさらに充実させた、日本の医学教育の歴史を資料等

により検証できる本邦初の常設展示施設です。

日本医学教育歴史館のご視察において、両陛下は、酒井シヅ医学研究室特任教授の説明を受けながら、解体新書などの約120点におよぶ西洋医学教育の歴史を伝える展示を熱心にご質問されながら興味深くご覧になられました。ご視察の後、両陛下には小川理事長、酒井シヅ特任教授を御休処にお召し入れになり、親しくご懇談されました。

記念式典の後、午後、有山登記念館講堂にて、理化学研究所野依良治理事長(ノーベル化学賞受賞者)による記念講演が行われ、「時代に生きる科学技術」というテーマで、現代に生きる我々にとって将来を見据えた大変示唆に富んだお話をいただきました。その後、センチュリータワー19階に場所を移し祝賀会が催されました。小川理事長からご挨拶をいただいた後、白井克彦放送大学学園理事長・前早稲田大学総長よりご祝辞をいただき、明石康国際文化会館理事長・元国連事務次長の乾杯の音頭で始まりました。本学創立175周年と歴史館の開館を祝う約190名の出席者の方々が和やかに歓談されるなか、佐藤潔特任教授による中締めのご挨拶をいただき、盛会裏のうちに閉会となりました。

創立175周年の節目に両陛下のご親臨を仰ぎ挙るといふ本学にとって歴史に残る記念すべき行事を滞ることなく取り進めることができましたことを大変光榮に存じます。式典運営に当りご協力いただいた教職員および関係者の皆様に対し篤く御礼申し上げます。今後も「不断前進」、「今、ふたたび“仁”」の理念のもと、学校法人順天堂の益々の発展に向け、全教職員一丸となって業務に邁進して参りたいと存じます。

* 総務局長事務取扱
〔May 28, 2014 原稿受領〕